

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-75	小学校	算数	算数	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 308 算数 309	わくわく算数 3上 わくわく算数 3下		

1

編修の基本方針

現在の社会では、グローバル化の進展や継続的な技術革新などにより急速な変化が進んでおり、その中では、様々な知識を整理・統合して理解する力が必要です。また、国際的な学力調査(PISA、TIMSSなどの)結果によると、算数・数学の学力は上位に位置していますが、引き続き学習意欲面では課題があります。

このような社会・時代での自立の基礎となる資質・能力を培う視点から、全国学力・学習状況調査等での結果を含めた学習の課題などを踏まえ、次の3点を編修の基本方針としました。

① 生活していく上で、基礎となる数学的知識・技能を習得できる教科書

② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する力をつけることができる教科書

③ 新しいものごとを理解し、創造する能力と主体的に学習する態度を養うことができる教科書

さらに、「学びをつなげる」という視点で、教科書の素材・展開を見直し、主体的・対話的で深い学びが実現できるように工夫するとともに、学びやすく教えやすい教科書を目指しました。

① 生活していく上で、基礎となる数学的知識・技能を習得できる教科書

(1) 日常の事象や既習事項とのつながりから単元を導入

単元の初めに『単元とびら』を設定し、数学的活動を通して、日常の事象や既習事項とのつながりから学習が始められるようにしました。

(上p.38, 52, 下p.22, 86など)

『じゅんぴ』への
リンク

既習事項
 $38+56$

新しい学習
 $154+237$



上p.38

(2) 基礎的・基本的な問題の充実

毎時の**1**のテーマの問題に対して、**①**の練習問題を適切な分量で設定しています。

また、単元途中に適宜『練習』、単元末に『たしかめよう』、各学期の中間、期末に『ふく習』、巻末に『じゅんび』、『もっと練習』を設定し、**基礎的・基本的な内容の理解と定着**が確実に図れるようにしています。

(上p.28, 50-51, 134-147, 下p.29, 56-57, 116-129)

さらに、『ふく習』の問題のうち、**各種学力調査等**から判明したつまずきの多い学習内容には、★マークをつけ、間違いやすい問題だと意識して取り組めるようにしています。

ふく習

数

★はまちがいやすい問題

① 数字でかきましょう。
① 四千百三十五 ② 三千八十
③ 千七百二 ④ 九千五

② 次の数を数字でかきましょう。
① 6000と300と20と5をあわせた数
② 3000と200と7をあわせた数
★③ 10000より10小さい数

★③ 10000より10小さい数

上p.50

② 筋道を立てて考える能力を育て、ものごとを合理的に処理する力をつけることができる教科書

(1) 筋道を立てて考えたり、多様に考えたりする場面の充実

既習事項を振り返りながら、新しい概念を筋道立てて考えていけるような展開にしています。

また、**多様な考え方**に触れられる場面を充実させ、友だちの考えとつなげて考えたり、判断したりすることで、**主体的・対話的で深い学びが実現**できるようにしました。

(上p.11, 下p.96-97など)

児童にとっては、自らの考えをもつきっかけや、説明、話し合いの見本となるように、教師にとっては、そのような授業の参考となるようにしています。

3

あめが1ふくろと、ばらで4こあります。
あめは全部で18こあるそうです。
1ふくろのあめの数を□として式にかき、
□にあてはまる数をみつけましょう。

式 □

ことばの式 1ふくろの数 + ばらの数 = 全部
を使って考えましょう。

□にいろいろな数を
あてはめてみよう。

図にかいて
考えてみよう。

めあて □にあてはまる数のみつけ方をせつめいしよう。

ひなたさんの考え

□ + 4 = 18 ×
□ + 4 = 18 ×
□ + 4 = 18 ○
□ + 4 = 18 ×
□に14をあてはめると、
ちょうど18になるから、
□の数は14 14こ

だいちゃんさんの考え

□こ
18こ
4こ

図にかいて考えると、
□は18より4小さい数
だから、
□ = 18 - 4
□ = 14 14こ

自らの考えをもつきっかけ

説明

話し合い

下p.96

(2) 統合的、発展的に考察する力を育むノートのかき方

巻頭の『わくわく算数ノート』では、考えがよくわかるような**ノートのかき方**の例を示し、自らの学習を振り返ったり、まとめたりすることで、学習の定着を図る習慣がつけられるようにしました。(上p.8-9)

また、各単元末の『ふりかえろう』では、単元の学習を終えて、わかったこと、できるようになったこと、もっとやってみたいことなどをノートに整理する際の例を示し、**統合的、発展的に考察する力**が育めるようにしています。(上p.16, 33, 下p.12, 35など)

『わくわく算数ノート』や『ふりかえろう』での活動が、自由研究などを**レポートにまとめる**ときにも役立つようにしています。

ふりかえろう

3けたのかけ算の筆算も、2けたの筆算と同じように計算できることがわかりました。
もっと大きな数の筆算もできそうです。

下p.35

③ 新しいものごとを理解し、創造する能力と 主体的に学習する態度を養うことができる教科書

(1) 『めばえ』から『めあて』、『まとめ』へとつながる学習の流れ

児童が目的意識をもって**主体的に学習を進められる**ように、学習の『めあて』を毎時間設定しています。

また、そのような新しい学習の『めあて』につながる考えや気づきを、この教科書では『学びのめばえ』と呼び、☺のマークをつけて強調し、適宜掲載しています。

さらに、『めあて』と対応する学習の『まとめ』を適宜掲載することで、児童にとっては毎時の学習の流れが、教師にとっては毎時の授業の流れがわかりやすくなるように工夫しました。

(上p.42-43, 67, 下p.20-21, 64-65など)

めばえ

めあて

まとめ

1 みさきさんは、324ページの本をよんでいます。いままでに182ページよみました。のこりは何ページですか。

式

のこりは何ページくらいかな。

2けたの数をひく筆算ならできるけど……

めあて 3けたの数をひくひき算の筆算のしかたを考えよう。

まとめ ひき算の筆算も、たし算の筆算と同じように、けた数が大きくなっても、位をそろえて一の位からじゆんに計算します。

上p.42-43

(2) より主体的に学習を進めていける『自分の力で』

既に学習した方法と同じように考えを進めていける場面には、★**自分の力で**のマークをつけ、児童が主体的に学習を進めていけるようにしています。(上p.47, 下p.30, 91)

★ **自分の力で**

③ 4けたの数の筆算

4けたの数の筆算も、3けたのときと同じようにできるかな。

めあて 3けたの数の筆算をもとにして、4けたの数の筆算のしかたを考えよう。

① $5678 + 1414$, $8472 - 7654$ を筆算でしてみましょう。

$$\begin{array}{r} 5678 \\ + 1414 \\ \hline 7092 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 8472 \\ - 7654 \\ \hline 818 \end{array}$$

まとめ 何けたの数の計算も、筆算で計算することができます。

上p.47

(3) 児童の主体性を促すICTの活用

教科書紙面に、**QRコード**を掲載し、学習内容と関連する参考情報をスマートフォンやタブレットでデジタルコンテンツとして閲覧できるようにしました。(上p.10, 16, 22, 下p.2, 4, 12など)

単元の入口で学習に入る準備ができるものや、単元の出口で学習した内容の確認ができるものも用意し、家庭で**主体的に学習する**際の参考にもなるようにしています。

QRコード

コンパスの使い方

ノートにかくときは、下じきをはずしましょう。

① えん量とはりのさきの高さが同じになるようにし、コンパスを開く。

② はりをさす。

下p.4

2

対照表

教育基本法第2条	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1号		
幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	▶知識や教養を身につけ、真理を求める態度を養うという観点から、『教科書の使い方』、『学習の進め方』、『わくわく算数学習』、『わくわく算数ノート』を設定し、 自ら進んで学習する態度を養える ようにしました。	上 p.2-9, 下 p.1
	▶単元末に『やってみよう』のコーナーを設け、その単元で学習した内容を使って 真理を求める態度が養える ようにしました。	上 p.33, 49, 下 p.13, 35など
	▶学習内容に関連するコラムを設け、 幅広い知識と教養が身につけられる ようにしました。	上 p.15, 69, 下 p.13, 51など
第2号		
個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	▶児童が課題に取り組む際、自分で考えたり、発表したりするなど 自ら進んで学習に取り組める よう配慮しました。	全体
	▶児童主体の学びとなるように課題発見となるキャラクターの吹き出しに『めばえ』マーク  をつけました。	上 p.10, 14, 下 p.3, 4等多数
	▶児童自らが町探検の計画を立てる場面や1日の生活を見直す課題などを用意し、その活動を通して、生活との関連を図れるようにしています。	上 p.52-57, 下 p.106-109
	▶『算数の自由研究』のコーナーを設け、個人の価値を尊重して創造性を培うことができるようにしました。	上 p.94-95
第3号		
正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	▶ 自他の敬愛と協力を重んずる ように、『わかりやすくせつめいしよう 友だちの考えをよく聞こう』というコーナーを設けました。	上 p.148-149
	▶紙面デザインや配色にあたっては、個人差を問わず、より多くの人に必要情報が伝わるよう配慮しました。	全体
	▶性別による役割を固定せず、児童一人ひとりが 他人を尊重しながら、互いに協力し、学習を進めていける よう配慮しました。	上 p.74, 下 p.40など全体
第4号		
生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	▶木の大きさを測ったり、小犬の重さを調べたり、動植物と触れ合う題材を設定しています。また、植樹の場面を通して、 環境の保全に寄与する態度が養える ようにしています。	上 p.99, 125, 下 p.53など
第5号		
伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	▶「古今算法記」に書かれている昔の九九表を紹介することで、 伝統と文化を尊重する態度が養える ようにしています。	上 p.15
	▶「そろばん」については、技能面だけでなく、その歴史も紹介しています。	下 p.100-103
	▶海外の小数の表し方を紹介し、 他国の文化を尊重する態度が養える ようにしています。また、日本への外国人旅行者の数を題材に扱うことで、国際化が進む社会を算数の側面から感じられるようにしています。	上 p.71, 下 p.73
	▶オリンピックについての題材を取り上げることによって、国際社会の平和について触れることができるようにしました。	下 p.54-55

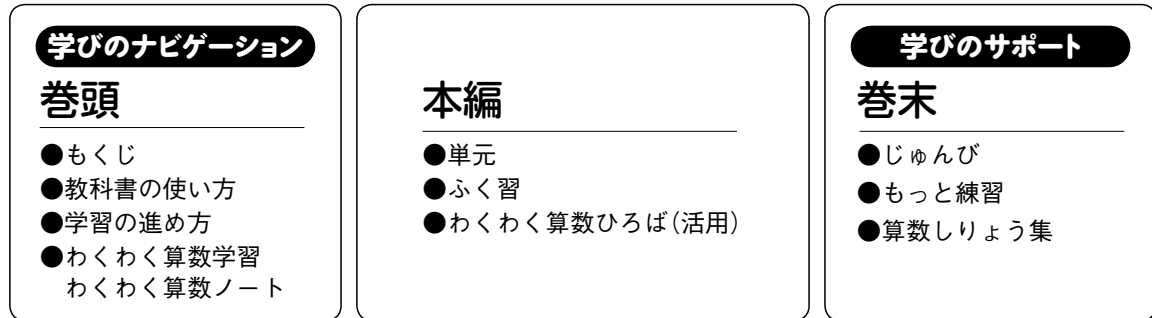
3

上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

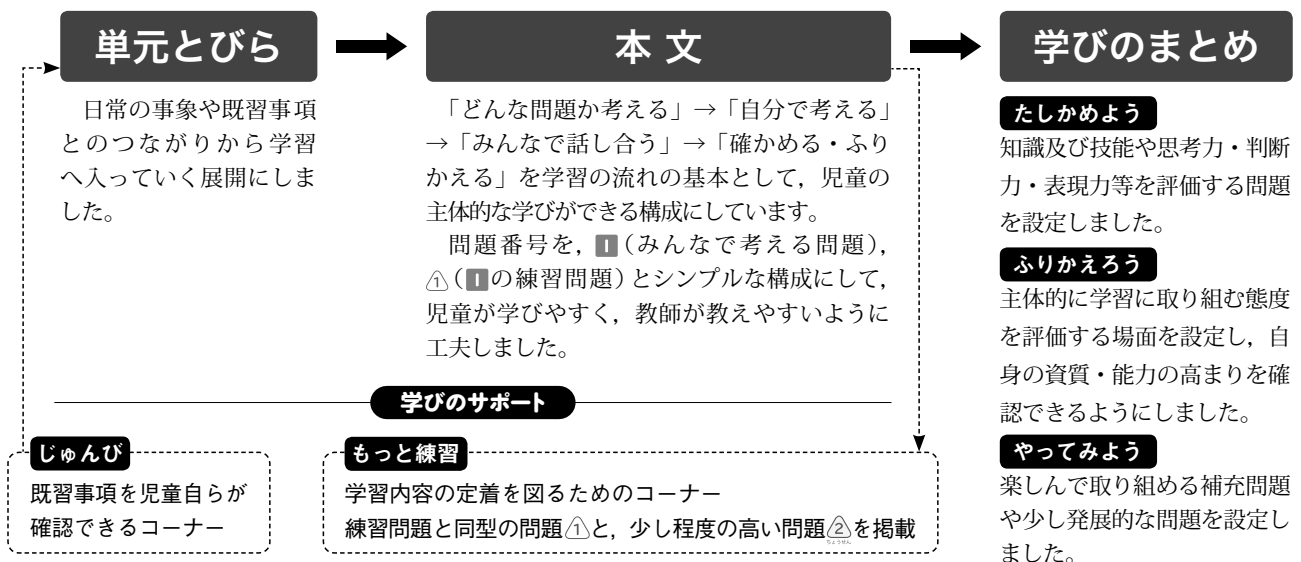
児童にとって学びやすく、教師にとって教えやすい教科書の構成、単元の流れにしました。

教科書の構成

『巻頭』、『本編』、『巻末』の3部構成で、『巻頭』を学びのナビゲーション、『巻末』を学びのサポートと位置づけて構成しています。



単元の流れ



巻頭、巻末

○『わくわく算数学習』: 第1時に配置して、1年間の学習に取り組む態度が養えるようにしています。

○『算数しりょう集』: 『わかりやすくせつめいしよう 友だちの考えをよく聞こう』、『図のかき方』、『じゅんびの答え』、『もっと練習の答え』、『3年上のまとめ』、『3年下のまとめ』、『さくいん』、『切り取り教具のつくり方』、『切り取り教具』といった、様々な学習の場面で役立つ資料を掲載しています。

指導書

教科書をより有効にご活用いただくための資料として、朱註、解説書を用意しています。

朱註では、教科書本文の縮版を見ながら、指導の要点や補足事項などがわかるようにしています。

解説書では、より詳しい指導上の留意点を補足し、授業の準備などで活用できる内容を掲載しています。

また、授業案や板書案なども用意し、授業計画立案の資料としても利用できるようにしています。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-75	小学校	算数	算数	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 308 算数 309	わくわく算数 3上 わくわく算数 3下		

1

編修上特に意を用いた点や特色

① 多様なカリキュラムへの対応(カリキュラム・マネジメント)

(1) 学び方を身につける巻頭の『学習の進め方』

巻頭の『学習の進め方』では, 児童も教師も見通しをもって, 学習を進めていくことができるように, 算数を『どのように学ぶのか』をわかりやすく説明しています。(上p.45, 下p.1)

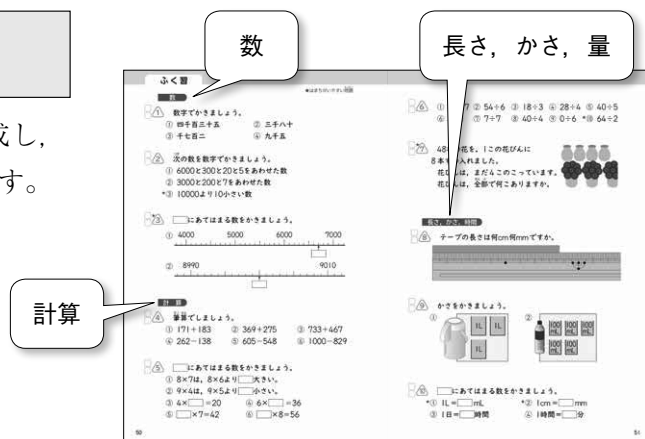
(2) 学んだことを活用する学期末の『わくわく算数ひろば』

日常の事象や既習事項について, 学んだことを活用して問題を解決する内容を, 『わくわく算数ひろば』として学期末にあたる場所にまとめて配置しました。これらのコーナーを関連する単元の直後などで扱うことで, 多様なカリキュラムを編成することもできます。(上p.92-95『どんな計算になるのかな』, 『算数の自由研究』, 下p.52-55『間の数』, 『算数ラボ』, 下p.104-109『買えますか? 買えませんか?』, 『みらいへのつばさ』)

(3) 短時間学習にも対応し, 知識・技能の定着が図れる『練習』, 『ふく習』

『練習』や『ふく習』は, 3つのブロックに分けて構成し, 短時間学習で取り扱うこともできるようにしています。

(上p.28, 50-51, 下p.29, 56-57など)



上p.50-51

(4) 児童の主体的な学習を促し, 家庭学習でも取り組める『学びのサポート』

巻末には, 配当時数外のコーナーとして, 『学びのサポート』(『じゅんび』, 『もっと練習』, 『算数しりょう集』)を用意しています。『じゅんび』は単元の学習に関する既習事項を児童自らが確認できるように, 『もっと練習』は単元の学習内容の定着を図ることができるようにしています。(上p.133-157, 下p.115-139)

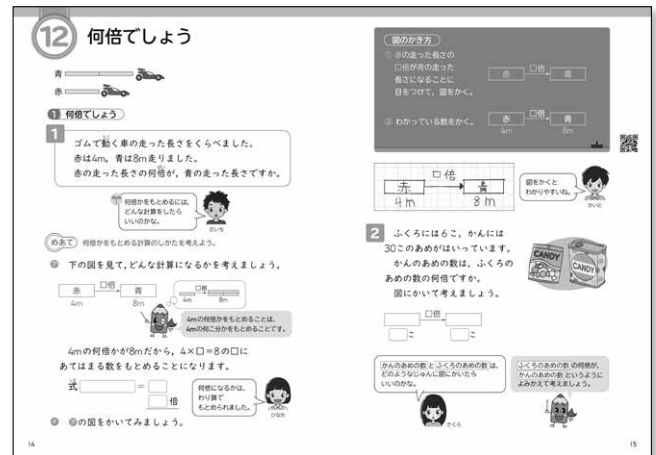
さらに, 『算数しりょう集』には, 『じゅんび』, 『もっと練習』の解答をつけ, 児童の主体的な学習を促し, 家庭学習でも取り組めるようにしています。

② 学年の特色，つまずきの多い箇所への対応

(1) 「何倍でしょう」(下p.14-19)

理解が困難とされている「割合」の系統を見直し，第3学年としては『何倍でしょう』の単元をリニューアルしました。

図を使って「倍関係の理解」が図れるようにし，次学年以降の「割合」の学習へのつながりがスムーズになるようにしました。



Fp.14-15

(2) 「あまりのあるわり算」(上p.104-115)

児童がつまずきやすいわり算の中で，あまりを処理する必要のある問題について，時間数とページ数を増やして，ていねいに扱うようにしました。

実際の場面をイメージした図や子どもの吹き出しを見て考えることで，理解が深まるようにしています。

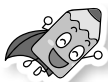
(3) 「□を使った式」(下p.94-99)

導入では，わからない数を□として式に表す意義がしっかりわかるような展開にしました。

また，問題文と図と式を相互に表す内容をていねいに扱い，それらの相互関係や，□を使った式についての理解が深まるようにしています。

③ 算数の有用性の実感

単元の学習場面での『学びをいかそう』



学びをいかそう

『わくわく算数ひろば』，『やってみよう』といったコーナー以外にも，身のまわりにある算数を見つけたり，身のまわりの問題に算数を活用したりする題材を取り扱って，算数を学ぶ意義が感じられるようにしました。

(上p.83, 102, 下p.63, 73など)



Fp.73

◆観点別特色

観点	留意点	該当箇所
教育基本法、 学習指導要領の 遵守	▶教育基本法に示された教育の目標を踏まえた編集方針としています。	全体
	▶小学校算数の学習指導要領に沿った配列、内容・構成にしています。	
主体的・対話的で 深い学び	▶ 児童主体の学び となるように、課題発見となる子どもの考えや気づきを『学びのめばえ』として取り上げました。	上 p.10, 14, 下 p.3, 4など
	▶ 多様な考え 方を充実させ、話し合いの場面も適宜設定することで、主体的・対話的で深い学びが実現できるようにしました。	上 p.10-11, 86-87, 下 p.96-97など
	▶既に学習した方法と同じように考えを進めていける場面には『自分の力で』というマークをつけ、児童が主体的に学習を進めていけるようにしています。	上 p.47, 下 p.30, 91  自分の力で
基礎・基本の定着	▶ 全国学力・学習状況調査等 の調査で、課題とされている内容について、ページを増やして展開したり、図や説明をていねいにしたりして、理解が図れるようにしました。	上 p.111-112 (あまりの処理の問題), 下 p.14-19(倍関係の理解) など
	▶巻末の『じゅんぴ』には、単元の学習に関する既習事項を、児童自らが確認できるようにしています。	上 p.134-137, 下 p.116-119
	▶巻末の『もっと練習』には、本文の練習問題と同型の問題(①)と少し程度の高い問題(②)をおき、学習内容の定着が図れるようにしました。 習熟度別学習 でも使えるようになっています。	上 p.138-147, 下 p.120-129
	▶『練習』、『ふく習』を適切に配置し、 基礎・基本の定着 が図れるようにしています。また、それぞれ3つのブロックに分けて構成し、短時間学習で取り扱うこともできるようにしています。	上 p.28, 50-51, 下 p.29, 56-57など
学びの見通し・ 振り返り	▶目次では、各単元に関連する既習の単元を、それを学習する学年とあわせて提示し、学びのつながりがわかるようにしています。	上下 表紙裏-p.1
	▶児童が目的意識をもって主体的に学習を進められるように、学習の『めあて』を毎時間設定しています。また、学習の『めあて』につながる考えや気づきとなる『学びのめばえ』を適宜掲載しています。さらに『めばえ』と対応する学習の『まとめ』を適宜掲載することで、学習の流れがわかりやすくなるように工夫しました。	上 p.42-43, 67, 下 p.20-21, 64-65など
	▶単元末には『ふりかえろう』を設定し、単元の学習を終えて、わかったこと、できるようになったこと、もっとやってみたいことなどをノートに整理する際の例を示し、 統合的、発展的に考察する力 が育めるようにしています。	上 p.16, 33, 下 p.12, 35など
	▶『3年上のまとめ』、『3年下のまとめ』で学習内容の重要事項をまとめ、児童自身で学習内容を振り返りやすいようにしています。	上 p.155, 下 p.135
資質・能力の 育成と 学力向上	▶単元末の『たしかめよう』では、 思考力・判断力・表現力等 を問う問題も設定しました。また、『やってみよう』で、思考力のさらなる育成を目指しました。	上 p.32-33, 48-49, 下 p.12-13, 34-35など
	▶『ふりかえろう』では、何がわかったか、何ができるようになったかなどを振り返って、児童自身の資質・能力の向上を確認できるようにしました。 (学びに向かう力・人間性等)	上 p.16, 33, 下 p.12, 35など
	▶『練習』、『ふく習』でも、適宜 思考力・判断力・表現力等 を問う問題を用意しています。	上 p.28, 50-51, 下 p.29, 56-57など
評価	▶単元末の『たしかめよう』、『ふりかえろう』、『やってみよう』では、児童自身の 自己評価 や 相互評価 などができるようにしています。	上 p.32-33, 48-49, 下 p.12-13, 34-35など
分量、 内容・配列	▶年間配当時数は、160時間とし、標準時数(175時間)よりも余裕をもたせた分量で構成しています。	全体
	▶内容の系統性とあわせて、指導時期や各領域のバランスも考慮した配列にしています。	
教科の有用性	▶算数の授業の中だけでなく、学校生活や家庭、地域を学びの場とする活動を設定しました。	上 p.58-60, 86-87, 92-93, 下 p.52-53など
	▶『学びをいかそう』では、身のまわりにある算数を見つけたり、身のまわりの問題に算数を活用したりして、算数を学ぶ意義が感じられるようにしました。	上 p.57, 92-93, 下 p.54-55, 73など
数学的な見方・ 考え方	▶『子どもの考え』の事例や『吹き出し』、単元末の『ふりかえろう』で、ものごとの特徴や本質をとらえる視点や、学習した内容を統合的、発展的にとらえることなどを示しています。	上 p.40, 89, 下 p.83など
数学的活動の 充実	▶『単元とびら』では、日常の事象や既習事項から問題を見いだすような場面にし、それらを解決していくようにしています。	上 p.20, 52, 下 p.22など
	▶『学びをいかそう』では、日常の事象や算数の学習場面から見いだした問題を解決する活動を取り入れています。	上 p.92-93, 123, 下 p.13, 104-105など
	▶課題に対して、自分の考えを説明したり、複数の考え方について、数学的に表現し伝え合う場面を適宜設定しています。	上 p.6-7, 86-87, 下 p.96-97など

観点	留意点	該当箇所
言語能力の育成・言語活動の充実	▶『算数しりょう集』の『わかりやすくせつめいしよう 友だちの考えをよく聞こう』では、説明したり、友だちの考えを聞いたりするときのポイントを示しています。	上 p.148-149
	▶自分の考えを説明したり、複数の考え方を提示し、それらについて話し合ったりする場面を適宜設定し、言語活動が充実するよう工夫しています。	上 p.6-7, 27, 下 p.20-21など
他教科との関連	▶社会科との関連として、都道府県の人口についての題材を取り上げました。	上 p.61
	▶理科の学習にスムーズに入れるように、「重さ」の単元の指導時期を早め、はかりの使い方などをていねいに扱っています。	上 p.116-129
	▶道徳科との関連として、説明する場面や話し合いの場面を設け、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、自分と異なる意見や立場も尊重できるようにしています。	上 p.27, 148-149, 下 p.38-39
	▶体育科との関連として、健康に過ごすために1日の生活の計画を立てる題材を取り上げました。	下 p.106-109
家庭学習・自学自習への対応	▶『じゅんぴ』、『もっと練習』は巻末の『算数しりょう集』に解答をつけ、家庭学習や自学自習で取り組むこともできるようにしています。	上 p.134-147, 152-153, 下 p.116-129, 132-133
	▶「保護者の方へ」を裏表紙に掲載し、家庭との連携を促しています。	裏表紙
カリキュラム・マネジメント	▶『じゅんぴ』では、単元の学習に関する既習事項を、児童自らが確認できるようにしました。	上 p.134-137, 下 p.116-119
	▶『練習』、『ふく習』は3つのブロックに分けて構成し、短時間学習にも対応できるようにしました。	上 p.28, 50-51, 下 p.29, 56-57など
	▶各学期に予備時数を設け、多様なカリキュラムに対応しやすくしました。また、活用コーナーを『わくわく算数ひろば』として学期末に取り扱えるようにしました。	上 p.92-95, 下 p.52-55, 104-109
今日的な課題への対応	▶植樹の場面を取り上げて、環境教育、ESDへとつながるように配慮しました。	下 p.53
	▶避難経路や避難看板を取り上げて、防災教育へとつながるようにしました。	上 p.102, 下 p.73
特別支援、ユニバーサルデザインへの対応	▶特別支援教育の専門家の監修のもと、すべての子どもたちが支障なく学習できる環境づくりを目指し、共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育(共育)に配慮しました。	全体
	▶温かみのある優しい色使いで、シンプルなデザインにしました。MUD協会による検証を受けています。	
	▶フォントは識別がしやすい書体(UD書体)を採用しました。	
	▶文章を理解しやすいように、意味改行をしています。	
	※デジタル教科書や拡大教科書を用意し、子どもたちの様々な学習の仕方にも対応できるようにしています。	
人権、福祉、国際理解、ジェンダー	▶子どもの写真やイラストについては、性別による役割を固定することなどなく、互いに協力しながら活動できるよう、性別・人種などについても十分配慮しています。	上 p.99, 下 p.52-53など
家庭や地域との連携	▶巻末の『学びのサポート』では、家庭学習でも取り組めるような問題を用意しています。	上 p.133-156, 下 p.115-136
	▶裏表紙には、保護者に向けたメッセージを掲載しています。	裏表紙
プログラミング学習	▶算数の内容を通して、プログラミング的な思考が育めるような内容について、その初出場面にマークをつけ、意識できるようにしました。	上 p.39 
ICTの活用	▶ICTが有効な場面では紙面にQRコードを掲載し、ICT機器の利用により、学習の助けになる動画、補充問題等の参考情報を参照できるようにしました。特に、単元の入口では、『じゅんぴ』に関する情報を、単元の出口には、『たしかめよう』に関する情報を用意しています。 ※QRコード対応機器以外でもデジタル教材を活用できるように裏表紙にURLを記載しました。	上 p.10, 16, 22, 下 p.2, 4, 12など
印刷・用紙・製本	▶開きやすく、紙面が広く見えて書き込み等の作業がしやすい「あじろ綴じ」製本形式を用い、軽くて印刷が鮮明な用紙を採用しました。	
	▶学習において操作活動が有効に働く場面では、巻末に切り取り教具を用意しました。	
	▶再生紙と植物油インキを使用し、環境やアレルギーにも配慮しました。	

2 対照表

	図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
上 巻	★わくわく算数学習	A(1)ア(ウ) (2)ア(ア) 第2(1)	p.6-9	1
	1. 九九の表とかけ算	A(3)ア(イ) (ウ) 内(3) (4)	p.10-18	5
	2. わり算	A(4)ア(ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) イ(ア) (イ)	p.19-33	10
	◎図を使って考えよう	第2(1)	p.34-37	2
	3. たし算とひき算の筆算	A(2)ア(ア) (イ) イ(ア)	p.38-49	9
	*ふく習	A(2)ア(イ) 第1(2)	p.50-51	1
	4. 時こくと時間	C(2)ア(ア) (イ) イ(ア)	p.52-57	4
	5. 一万をこえる数	A(1)ア(ア) (イ) (ウ) イ(ア) 内(1)	p.58-73	12
	6. 表とグラフ	D(1)ア(ア) (イ) イ(ア) 内(8)	p.74-89	9
	7. たし算とひき算	内(2)	p.90-91	4
	◎どんな計算になるのかな	A(4)ア(イ) (ウ)	p.92-93	1
	◎算数の自由研究	第2(1)	p.94-95	1
	*ふく習	第1(2)	p.96-97	1
	8. 長さ	C(1)ア(ア) (イ)	p.98-103	5
	9. あまりのあるわり算	A(4)ア(ア) (ウ) (エ) イ(イ)	p.104-115	8
	10. 重さ	C(1)ア(ア) (イ) イ(ア) 内(7)	p.116-129	8
	*ふく習	第1(2)	p.130-132	1
	★学びのサポート	第1(2) 2(1) (3)	p.133-157	—
下 巻	11. 円と球	B(1)ア(ウ) イ(ア) 内(6)	p.2-13	8
	12. 何倍でしょう	A(3)ア(ウ) (4)ア(ウ) 第2(1)	p.14-19	4
	13. 計算のじゅんじょ	A(3)ア(ウ) イ(ア) 内(4)	p.20-21	1
	14. 1けたをかけるかけ算の筆算	A(1)ア(ウ) (3)ア(ア) (イ) 内(2)	p.22-35	12
	15. 式と計算	A(3)ア(ウ) 内(4)	p.36-39	2
	16. 分数	A(6)ア(ア) (イ) (ウ) イ(ア)	p.40-51	10
	◎間の数	第2(1)	p.52-53	2
	◎算数ラボ	第2(1)	p.54-55	1
	*ふく習	第1(2)	p.56-57	1
	17. 三角形	B(1)ア(ア) (イ) イ(ア) 内(6)	p.58-69	8
	18. 小数	A(5)ア(ア) (イ) イ(ア) 内(5)	p.70-83	10
	*ふく習	第1(2)	p.84-85	1
	19. 2けたをかけるかけ算の筆算	A(3)ア(ア) (イ)	p.86-93	6
	20. □を使った式	A(7)ア(ア) イ(ア)	p.94-99	4
	◎そろばん	A(8)ア(ア) (イ) イ(ア)	p.100-103	2
	◎買えますか？ 買えませんか？	第2(1)	p.104-105	1
	◎みらいへのつばさ	第2(1)	p.106-109	2
	*もうすぐ4年生	第1(2)	p.110-114	3
	★学びのサポート	第1(2) 2(1) (3)	p.115-139	—
			標準時数175	計 160
			(予備時数)	(15)

記号の意味：

◎…活用・問題解決のページ ★…特設ページ

内…内容の取扱い 第…第3 指導計画の作成と内容の取扱い

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-75	小学校	算数	算数	第3学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
61 啓林館	算数 308 算数 309	わくわく算数 3上 わくわく算数 3下		

ページ	記 述	類 型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
上113	あまりの数を使って	1	A(4) ア(ア)イ(イ) (除法が用いられる場面を式に表すことに関連して 余りによる整数の類別を扱います。)	1
下35	学びをいかそう やってみよう	1	A(3) ア(ア) (3位数×1位数の乗法に関連して、 4位数×1位数の簡単な乗法を扱います。)	0.75
下46	分母のちがう分数の 大きさを比べ	1	A(6) ア(イ)イ(ア) (同分母分数の大小に関連して、 異分母分数の大小を扱います。)	0.25
合 計				2

(「類型」欄の分類について)

1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容(隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む)とされている内容

2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容